

6号機起動工程に係る状況確認の結果

2月10日（火）、下記のとおり安全協定に基づく状況確認を実施しましたのでお知らせします。

記

- 1 日時 令和8年2月10日（火） 10時20分～17時20分
- 2 確認者 新潟県、柏崎市、刈羽村
おぼらとおる
小原 徹 技術委員会座長
（東京科学大学総合研究院教授）
ながややすのぶ
長家 康展 評価会議委員
（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所
原子力基礎工学研究センター 炉物理・熱流動研究グループ
リーダー）
- 3 内容 原子炉隔離時冷却系（RCIC）ポンプ及び高圧代替注水系（HPAC）ポンプの作動状況を確認
※1 いずれのポンプも原子炉の蒸気を用いて駆動し、非常時に原子炉へ注水する。HPACは福島事故後に新設
※2 原子炉の定格圧力（約7MPa）ではなく、約1MPaにおいて実施

専門家のコメント

○小原 技術委員会座長

作業員の安全にも十分配慮しつつ、ひとつひとつ手順を確認して作業を進めていたことは評価できる。

多くの若い方が作業に従事していたので、技術継承が十分行われるように意識しつつ、今後も安全を最優先に起動工程の作業を進めていただきたい。

○長家 評価会議委員

RCIC及びHPACは安全上非常に重要な設備であることから、問題が発生すれば、立ち止まって確認いただきたい。